

02	まちの話題
04	特集1 リサイクル特集
06	特集2 特定健診
08	多久市からのお知らせ
14	あじさいへ行こう！
15	健康ノススメ
16	教育委員会日より
18	おたっしゅだより
20	まちのPickUPインフォメーション
24	Hi! POSE ほか

4月1日[Wed]~5日[Sun]

「茅葺きの家」の魅力を探るパネル展が開催されました



▲茅葺きの住まいの魅力を伝える展示会場のようす

茅葺き民家を地域の歴史や自然環境を象徴する資源と捉え、その利活用を考えるプロジェクトの一環として、まちづくり交流センター「あいぱれっと」で、市内の茅葺き民家をテーマにしたパネル展が開催されました。

主催したのは、佐賀大学後藤研究室・洲上研究室とNPO法人地域文化財研究室まちのつぎて。市教育委員会の支援を受け、2年間にわたって行われた調査やシンポジウムの成果を披露する場となりました。

会場には、国指定重要文化財「川打家住宅」をはじめとする市内の民家調査パネルや模型、佐賀大学写真部による写真などが展示され、地域に根ざした建築物の歴史的価値と未来への可能性が広く発信されました。

4月18日[Sat]

多久聖廟で春季釈菜



▲孔子と4人の弟子の像の前で儀式が進められました

300年以上もの間守り継がれ、佐賀県重要無形民俗文化財にも指定されている「春季釈菜」(主催：公益財団法人孔子の里)が、今年も多久聖廟で開催されました。多くの参拝者が訪れるなか、雅楽隊の奏でる調べとともに献官役の香月正則市長と祭官が入廟。厳かに儀式が進められました。

儀式の後は釈菜の舞や唱歌、揚琴の演奏、孔子の里腰鼓が披露され、多くの人が鑑賞。県外からの来場者は「昨年行って良かったと友人から勧められて初めて来ました。美しい衣装や聖廟に魅了されました」と、初めての釈菜を満喫されました。

4月22日[Wed]

九州民謡王座決定戦・コツコツ節全国大会で最高賞の文部科学大臣賞を受賞



▲文部科学大臣賞の賞状を手にする永田さん(右)と香月市長(左)

大分県で3月に開催された第5回九州民謡王座決定戦・コツコツ節全国大会にて最高賞の文部科学大臣賞を受賞した永田はる奈さん(中多久団地二区)が香月正則市長を表敬訪問されました。

これまで九州の大会では文部科学大臣賞の受賞はなく、初めての受賞となった永田さんは「民謡を始めて30年になりますが、大変光栄です。長年やってきてよかったです」と受賞の喜びを語られました。永田さんは歌うのが好きで、周りからの勧めもあり民謡を始められたそうです。香月市長は「文部科学大臣賞の受賞おめでとうございます。これからも素敵な声を聴かせてください」とお祝いの言葉を述べました。

今月の論語

悪紫之奪朱也。
紫の朱を奪うを悪む

出典：陽貨第十七

紫の色がよるこばれ、もともとの朱色があろそかにされて残念です。

今月の帰宅放送は、東原岸倉西淡校9年の安藤豪琉さんです。

